

「歩行者移動支援サービスの導入促進に向けた連絡協議会」の開催について

(国土交通省 政策統括官付)

国土交通省政策統括官付では、ユニバーサル社会の実現に向け、高齢者や障がい者など移動制約を持つ様々な方々に対し、スマホ等を通じて、段差やスロープ、エレベータの位置などを考慮した移動経路情報や歩行上のバリア情報を提供する歩行者移動支援サービス（以下、「サービス」という。）の普及促進を推進しています。その一環として、国土交通省では、これまで全国14箇所において、技術検討のための実証実験事業を実施し、サービス導入の技術検証と併せ、サービスに係るノウハウの蓄積や人材の育成を行ってきました。

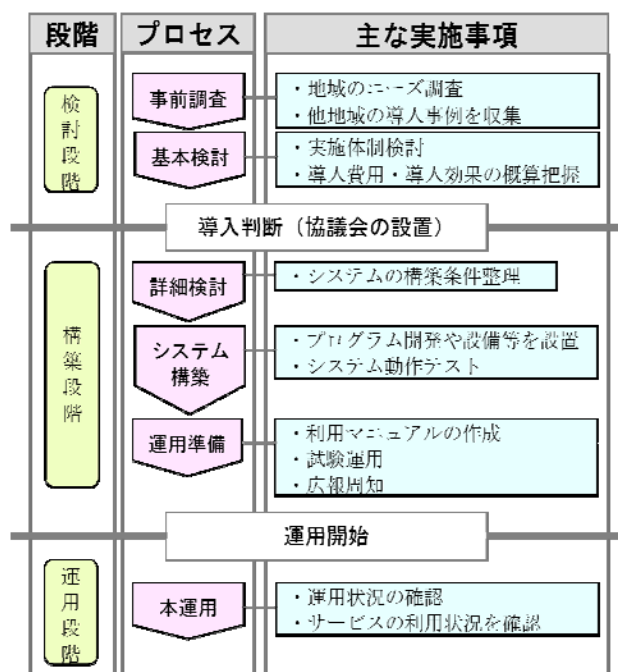


図1. サービス導入の流れ

（「歩行者移動支援サービスの導入に関するガイドライン」（国土交通省政策統括官付）より転載（一部修正）

サービス導入のプロセスは、地域のニーズ調査から始まり、実施体制やサービスを実現する歩行者移動支援システムの構築条件などの検討を経て、システム構築、サービス運用という流れとなります。（図1.）

サービス導入においては、検討、構築、運用段階の各プロセスにおいて、多数の関係者との調整等の人的な情報の共有及びシステム構築のための技術的ノウハウの両面が必要となります。

そこで、それら人的・技術的なノウハウ、サービスの継続等に関する課題認識、さらにその解決に関するベストプラクティスについて、各地で実証実験事業に携わる担当者が一堂に会して情報を共有することを目的として、「歩行者移動支援サービスの導入促進に向けた連絡協議会（以下「連絡協議会」という。）」を開催しました。

【連絡協議会の開催状況について】

連絡協議会では、過去の現地事業においてサービスを構築・工夫した事例（渋川地区及び伊勢地区）並びに今年度の実証実験事業5箇所の実施概要の報告ののち、意見交換が行われました。

意見交換においては、サービスの検討段階でどのようにデータを収集しているか、障がい者への案内方法やアプリ上での表現方法をどのように工夫しているか、さらに、

構築段階においても、多言語対応の注意点や歩行空間ネットワークデータ（歩道上のデジタル地図データ）整備上の注意点など、積極的な発言が各実施主体よりありました。実際にサービスを構築した各実施主体のノウハウを参加したメンバー間で共有・蓄積できる場になったものと考えております。

表 1. 「連絡協議会」出席の地区・協議会

実施年度	地区	実施協議会名
H25	福島県福島市	土湯温泉町復興再生協議会
	東京都狛江市	狛江市あいとぴあレインボー推進協議会
	静岡県下田市	下田市ユニバーサルツーリズム
	兵庫県豊岡市	城下町いずし歩行者移動支援協議会
	島根県松江市	松江バリアフリーのまちづくり推進協議会
H24	北海道旭川市	カムイ大雪バリアフリー推進協議会
	福島県いわき市	いわきユビキタス社会化推進協議会
	群馬県渋川市	渋川地区観光特別宣伝協議会
	三重県伊勢市	伊勢・バリフォン開発協議会
	奈良県明日香村	明日香まるごと博物館づくり推進協議会
H23	東京都中央区	「東京ユビキタス計画・銀座」実施協議会
	京都府京都市・宇治市	京都フラワーツーリズム推進協議会
	長崎県長崎市	長崎市 LRT ナビゲーション推進協議会



写真 1. 「歩行者移動支援サービスの導入促進に向けた連絡協議会」の実施状況

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付 TEL:03-5253-8794

ICT TOP (メニューページ)

「歩行者 ICT」で検索

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_mn_000002.html